



## フルーツ×ギター×語り 音とおはなしのユニット “おとばな”

出演：おとばな

【宇高靖人氏（音楽家）、宇高杏那氏（音楽家）、和久田み晴氏（声優）】

日時：1月20日(土) 午後2時～3時

会場：中央公民館大講堂

（住所：石岡市柿岡5680-1）

対象：児童

募集人数：児童・保護者合わせて約100人

※定員に達した場合は締切

受付方法：1月19日(金)までに図書館カウンター、電話もしくははばらき電子申請にて受け付け

※詳しくは、図書館ホームページからご確認ください▶



## 雑誌付録 プレゼント

▶1月5日より本を借りた人へ雑誌の付録をプレゼントします。なくなり次第、終了となります。

※当選者はくじ引きにて決定します。

◆こども図書館本の森（午前10時～）

6日(土) おはなし玉手箱

11日(木) ひよこのおはなしかい

20日(土) むかしむかしのおはなし会

※ひよこのおはなしかいのみ午前10時30分～

◆郷の本棚やさと図書館

（午後2時30分～）

13日(土) おはなしフレンズ



▲白久台遺跡（石岡）から出土した縄文土器に残る口縁部の溝

## 時の記憶

シリーズ218

「細部から手がかりをつかむ 口縁部編」

圖文化振興課（支所）

TEL 43-1111（内線1456）

現在、石岡市では多くの発掘調査が行われており、その件数は年間の〇件以上にも及びます。そこから出土している土器は、細かく観察すると多くの情報を持っています。

今回は、その中でも口縁部（器の口の部分）に注目しましょう。口縁部は、土器の中でも花形の部位で、多くの把手や文様が施されています。この口縁部の文様のつき方を観察することで、当時の人々の文様の設計方法やそのテクニックを窺うことができます。

また、口縁部には写真のように細長い溝が確認できる場合もあります。これも土器製作に関連するもので、当時の人々が紐をかけた痕跡などと考えられます。

以上のように、口縁部だけでも当時の人々の暮らしに具体的に迫ることが可能です。

1月からのふるさと歴史館の企画展では、土器を部位ごとに細かく観察し、土器づくりの手がかりをつかむ展示を開催します。

ふるさと歴史館第35回企画展

「美は細部に宿る」

期間／1月10日(木)～4月7日(日)

場所／ふるさと歴史館（総社1-2-10）

休館日／月曜日（祝日の場合は翌日）

# 文芸いしおか

## いしおか俳句同好会

身に沁むや体当りする風もあり  
貸し借りはきれいに穴に入る蛇  
母とゐるぬくもりに似てちゃんちゃんこ  
白鷺の眠たさうなる刈田道

## やさと俳句会

落ちてなほ銀杏落葉の輝けり  
公民館のシンボルツリー銀杏黄葉  
柿と坂十三塚は故事の里  
みづうみに冬日遍く煌めけり

## いしおか川柳会

自分との戦いこそが生きる糧  
「おだいじに」今日も聞こえる処方箋  
ご苦労様そつとねぎらう夫の服  
終活は気になるけれど進まない

## 石岡俚謡会

天下取るよな 野望は持たぬ 無事に暮らせりや それでいい  
出来は豊作 色つやよくて 園児はしゃいで 芋を掘る  
百を越しても 次からつぎと 響く施設の 童うた  
冬の露天に 輝やく星座 「昴」小さく 口ずさむ  
すきま風吹く 昔の居間は 家族くつきき 冬の夜  
青いお空に 白雲ポカリ 紅くそよぐよ 群コキア  
冬の夜なべで 洋服縫って 着せてくれたね お母さん  
冬の日射しを 充分受けて 軒を彩る 柿すだれ

## 投稿作品

八重葎見向きもされぬ草なれどその葉がいいと夫は言いたり  
小さい秋見つけられずに冬將軍

一色 しのぶ (総社)  
小池 つと夢 (貝地)  
森 まさえ (東光台)  
森田 愛子 (府中)

鈴木 恵子 (瓦谷)  
中島 れい子 (部原)  
岡村 素泡 (柿岡)  
國谷 南風 (瓦谷)

小林 凧 (総社)  
小松崎 一枝 (国府)  
桜井 紀美子 (青田)  
助川 浩史 (府中)

篠原 美千代 (国府)  
前島 くに子 (貝地)  
小川野 蛙 (府中)  
石塚 芳華 (石岡)  
若色 茂 (山崎)  
暁 夢華 (総社)  
秋野 もみじ (南台)  
助川 浩史 (府中)

友部 澄子 (北府中)  
今戸 勇 (国府)

## 文化協会だより

### 第47回 「やさと巨樹の会」

やさと巨樹の会は、地域のシンボルとして親しまれている巨樹名木の保全にスポットを当て、巨樹観察研修会「巨樹巡礼」や保存樹等巡視管理などの活動をしています。

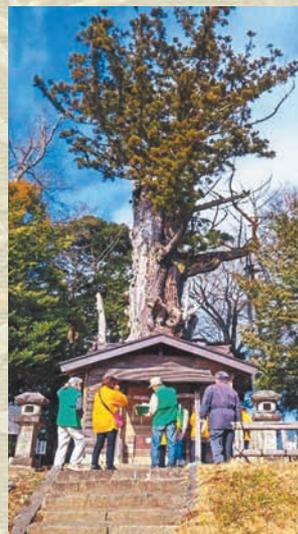
主な活動実績としては、巨樹を訪ねる講座を原点に、発足から22年間で県内外の「巨樹巡礼」を44回開催しました。

今や巨樹は絶滅の恐れさえ感じられる厳しい現実もありますが、これからも巨樹文化の継承を目指して活動していきます。巨樹名木に興味のある人は、お気軽にご連絡ください。

会員：20人

年会費：2,000円

岡やさと巨樹の会 (藤岡) TEL 43-2810



▲保存樹管理活動 (佐久の大杉)



▲案内板を磨く会員